

伊勢茶に親しむ日 候補となる期間

1 新茶シーズン

- ① 4月21日（七十七夜）～5月21日（国際お茶の日）の一か月間（31日間）

【概要】

- ・ 新茶の時期であり、消費者の関心が高い時期である一か月間とする案。旬の時期であることから、PRの効果も高いのではないかとの意見もあった。
- ・ 4月21日は川根お茶街道推進協議会が定める川根茶の日と被る。
- ・ 茶業全体として繁忙期であり、この時期のイベントに茶業団体等の協力は困難とのこと。
- ・ そのほか、4月18日（県民の日・花とみどりの日）～5月17日とすること等も考えられる。

2 農閑期

- ① 10月31日（日本茶の日※）～11月6日の一週間

【概要】

- ・ 日本茶の日といわれることのある10月31日から11月6日までの一週間とする案。11月3日（文化の日）を挟むため、文化的なイベントの開催も多く、お茶に親しみやすいのではないかとの意見もあった。
- ・ 11月1日は静岡市めざせ茶どころ日本一条例に規定する「お茶の日」と被る。
- ・ 農閑期に入る時期であり、この時期のイベントに茶業団体等の協力を得られやすいと思われる。

※ 臨済宗の開祖・栄西が、中国・宋から茶樹の種子を1191年のこの日に持ち帰ったとされることから、「日本茶の日」とされる（制定者不明）。

- ② 11月1日～11月30日の一か月間

【概要】

- ・ 農閑期に入る11月とする案。伊勢茶振興大会等の茶業団体関連のイベントが開催される時期のため、既存のイベントとの結びつきが容易であると思われる。
- ・ 11月1日は静岡市めざせ茶どころ日本一条例に規定する「お茶の日」と被る等、他県でのお茶の記念日等となっているほか、11月は子ども虐待防止啓発月間、八〇二〇推進月間等の本県の条例で定める記念日等も多い。

③ 1月29日（大谷嘉兵衛の生誕日）～2月4日の一週間

【概要】

- ・ 三重県のお茶にまつわる偉人である大谷嘉兵衛にちなみ、彼の生誕日から一週間とする案。お茶の淹れ方教室を1月から3月までに実施することが多く、このようなイベント等との結びつきもできるのではないかとと思われる。
- ・ 本県の条例で定める記念日等又はお茶に関する記念日等に被りがない。